

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-179		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	26	中	「モンシロチョウ」の「葉を食べ始める。」の写真の下左の楕円	児童にとって理解し難い表現である。 (「じっさいの大きさ」について)	3-(3)	
2	29	上囲み	「さなぎの中には、頭やむね、はらなどになる「もと」があります。それらから、成虫のからだがつくられていきます。」	学習指導要領に示す内容と適切な関連がない。	2-(16)	
3	29	上右	「あと数日で成虫になるモンシロチョウのさなぎのレントゲン写真」	不正確である。 (「レントゲン写真」について)	3-(1)	
4	32	2 - 5	「チョウの成虫のからだは、頭、むね、はらの3つの部分からできていて、むねにあしが6本、はねが4まいあります。このようなからだのつくりをしたなか	児童が誤解するおそれのある表現である。 (こん虫のはねについて)	3-(3)	
			まを、こん虫といいます。」及び5ページ上左の同表現。			
5	32	下左	チョウの写真の「目」の引出線の指す位置	不正確である。	3-(1)	
6	34	下左	「トンボのよう虫(やご)のかい方の「あかむしやイトミミズをあたえる。」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (あかむしやイトミミズの状態によってはトンボのよう虫が餓死する可能性がある。)	2-(1)	
7	46	下囲み	右写真の上の「風力発電」	児童にとって理解し難い表現である。 (未学習。)	3-(3)	
8	58	中	「野さいは、植物のどこを食べているのかな。」	児童にとって理解し難い表現である。 (意味するところについて)	3-(3)	
9	67	中右	「ニンジン」の写真の「根」の示す部位	児童が誤解するおそれのある表現である。 (ニンジンの「根」について)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-179		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	67	下右	「アスパラガス」の写真の「くき」の示す部位	児童にとって理解し難い表現である。 (アスパラガスの「くき」について)	3-(3)	
11	81	ページ全体	「こん虫をまねてロボットをつくる」全体	発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)	
12	91	下左写真	放しや温度計の「A&D Company, Limited」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
13	151	27 - 30	「はりのN極と地球の北極(S極)が引き合い、はりのS極と地球の南極(N極)が引き合うためなのです。」	不正確である。 (引き合う対象について)	3-(1)	
14	176	ページ全体	「身のまわりの物のなかま分け」全体	児童にとって理解し難い表現である。 (「アルゴリズム」、「コンピューター」、「プログラミング」の関係について説明不足。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-180		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 4
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	11	右	「オオカマキリ」の写真、説明文の「たまごからかえったよう虫」、「オオカマキリの観察」の記録カードのスケッチと「たまごから、よう虫が出てきた。」（以下、155ページ上の「オオ	児童にとって理解し難い表現である。 （「たまご」、「たまごの入ったあわのかたまり」及び「あわのような物」について）	3-(3)	
			カマキリ」の写真、説明文の「たまごの入ったあわのかたまり」、「オオカマキリの観察」の記録カードのスケッチと「たまごを見つけた。あわのような物につつまれている」)			
2	25	下囲み	「ショベルカーのうではどうなっているのかな？」全体	発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)	
3	33	上写真	説明文「空全体を10として、雲の量が0～8のときを「晴れ」、9～10のときを「くもり」とする。」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)	
4	49	ページ全体	「電気でモーターを回して走る！ 電気自動車」全体	児童にとって理解し難い表現である。 （既習の電流との対応について説明不足。）	3-(3)	
5	49	8	「じゅう電式電池にためた電気」	発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)	
6	61	15 - 18	「どのような場所でも、川は、まわりでいちばん低いところを流れているのです。」	不正確である。 （天井川を考慮すると断定的である。）	3-(1)	
7	75	上右写真	説明「ことごの一部」（以下、下写真説明「はくちょうごの一部」）	不正確である。 （望遠鏡が対象とする天体を「星座」の一部と表現することについて）	3-(1)	
8	105	1 - 2	「ドングリ」（以下、2-3行、4行、6行及び中図タイトル）	不正確である。 （表記について）	3-(1)	
9	105	下中写真	タイトルの「カキ」	不正確である。 （生物名の表記について）	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-180		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 4
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	156	中	「アゲハのさなぎ」の写真の右の児童の吹き出しの「たまごやさなぎで冬ごしするのは、どうしてだろうか。」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (アゲハの「冬ごし」について)	3-(3)	
11	167	下囲み	「じょう発のしかたと温度」全体	発展的な学習内容には該当しない。	2-(15)	
12	177	3 - 4	「寒くなると、かかれてもたねを残したり、えだに新しい芽をつけたりして、冬をこします。」	不正確である。 (「生き物の1年」の「まとめ」の記述として)	3-(1)	
13	190	下右吹き出し	「燃えやすい物は、つくえの下にしまう。」の「燃」	表記の基準によっていない。 (「学年別漢字配当表」において当該学年より後の学年に配当されている漢字の初出の際に読み方を示していない。)	3-(4)	
14	194	下左囲み④	「はりのふれが小さいときは、切りかえスイッチを、「モーター まめ電球(0.5A)」の方に入れる。」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明不足。)	3-(3)	
15	197	上右	図の「関節」及び「ほね」の引出線の指す位置	不正確である。 (22ページ中の「うでを曲げる」の図の「関節」の引出線の指す位置及び、24ページ上右の図の「うでのほね」の引出線の指す位置に照らして)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-181		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 5
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	20	1	「種子」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がない。)	3-(3)	
2	57	15 - 16	「それが、めしべの先につくことで受粉します。」(以下、19-20行「それが、めしべの先について受粉します。」)	不正確である。 (受粉の表現として)	3-(1)	
3	69	下右写真	「台風により起きた高波」	不正確である。 (10-11行「台風が近づいたとき、どのような災害が起きると考えられるか」の例として)	3-(1)	
4	80	下右写真	説明文「甲州市」	不正確である。 (写真との対応について)	3-(1)	
5	87	中写真	「大雨の後に、川の水によって運ばれた土が海に流れこむようす」	不正確である。 (87ページ1~2行「流れる水のどのようなはたらきによって起きた災害だと考えられるか」の例として)	3-(1)	
6	107	上右吹き出し	「水の温度を上げたとき」のグラフ	不正確である。 (106ページ下左「水(50mL)の温度を上げたときにとけた食塩の量」のグラフとの対応関係について)	3-(1)	
7	118	下中	「約16週」の母体の模式図の「へそのお」の引出線	不正確である。 (指す位置について)	3-(1)	
8	135	下	「2. 電磁石の強さ」の3つの図	児童にとって理解し難い表現である。 (図におけるゼムクリップの個数と132ページ上右2つの表における値(「クリップの数」)の対応について)	3-(3)	
9	151	上右図	「ゆれていないときのそうちのようす」の図及び「逆さまのふりこがとりつけられている。」	児童にとって理解し難い表現である。 (「逆さまのふりこ」について説明不足。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-182		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	14	上中	「火が燃え続けた。」及び上右の同表現	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (ものの燃え方の学習において、指摘事項では、燃える対象が「火」となっており、児童が混乱するおそれがある。)	2-(1)	
2	30	下囲み	図の説明文の「ばく芽糖は、体内に入ってから、さらに吸収されやすい小さい物に変化します。」	不正確である。 (「中学2年で学ぶこと」として)	3-(1)	
3	30	上左	「㊦だ液を入れたもの」の写真の液の色と、説明文の「色は変化しなかった。」	児童にとって理解し難い表現である。 (29ページ中右の写真の「スポット」の中のうすいヨウ素液の色に照らして)	3-(3)	
4	32	中右	「小腸の内側のひだのようす(約20倍)」	不正確である。 (倍率について)	3-(1)	
5	35	下	「用意する物」の「モール など」	児童にとって理解し難い表現である。 (用途の説明がない。)	3-(3)	
6	40	下	図中の「空気」の右の赤色の矢印と青色の矢印、及び「気管」の上の青色の矢印と下の赤色の矢印	児童にとって理解し難い表現である。 (図の凡例の矢印に照らして)	3-(3)	
7	57	中右	「根からくきを通ってきた水は、主に葉から水蒸気となって出ていく。これを蒸散という。」	不正確である。 (「蒸散」の定義について)	3-(1)	
8	66	10 - 11	「動物の食べ物のもとをたどると、すべて植物に行き着きます。」(以下、73ページ囲み5行「動物の食べ物のもとをたどると、すべて植物に行き着く。」)	不正確である。 (65ページ下右「水中の小さな生き物」を考慮すると)	3-(1)	
9	67	22 左	「中学2年で学ぶこと」	不正確である。 (学年について)	3-(1)	
10	68	上右吹き出し	「生きていくために、呼吸をすることで酸素をとり入れていたね。」	不正確である。 (生命活動の記述として)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-182		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	71	下左図	「全体の重さに対する、ふくまれている水の割合の例」全体	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)	
12	73	下図	「呼吸」と周囲の4本の矢印	不正確である。 (「呼吸」と矢印との関係について)	3-(1)	
13	80	中右写真	タイトル「太陽の表面」	不正確である。 (「表面」について)	3-(1)	
14	89	下左写真	説明文「月から地球を見ると、太陽の光の当たり方によって、地球も満ち欠けて見える。」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)	
15	104	下囲み	「考えよう」全体	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (④の地下のようすを考えることは困難である。)	2-(1)	
16	105	下右図	日本地図上の緑色のプロット	不正確である。 (105ページ5～6行「北海道むかわ町に見られる地層では」との対応について)	3-(1)	
17	109	5	「大地にずれ(断層)が生じると、地震が起きます。」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (新たに断層が生じると誤解する。)	3-(3)	
18	113	写真	中左写真タイトル「平地の広いはん囲におし寄せる津波」と下左写真タイトル「液状化現象」	不正確である。 (学習内容に照らして、自然現象と災害の関係について)	3-(1)	
19	125	下左図	「実験用てこ」の図全体	児童にとって理解し難い表現である。 (図中上右の「おす。」について説明不足。)	3-(3)	
20	138	上右	写真のタイトル「富山県 中新川市」	誤りである。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-182		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
21	138	上右	「水力発電所」の写真及びタイトル	不正確である。 (写真とタイトルの関係について)	3-(1)	
22	142	4	「充電池」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がない。)	3-(3)	
23	143	下	「電熱線の発熱の調べ方」における右側の図	児童にとって理解し難い表現である。 (「電熱線」の線の位置について)	3-(3)	
24	145	13	「明かりがつく時間」及び同ページ15行の同表現	児童にとって理解し難い表現である。 (同ページ18行の「明かりがついている時間」との違いについて)	3-(3)	
25	148	下囲み	「①プログラムを考える。」全体	児童にとって理解し難い表現である。 (「プログラムを考える。」について説明不足。)	3-(3)	
26	149	3	「メーターつきコンデンサー」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がない。)	3-(3)	
27	166	2	「塩酸には、金属をとかすはたらきがあります。」	不正確である。 (塩酸のはたらきについて)	3-(1)	
28	173	9 - 10	「かん水によって、小麦粉にふくまれるたんぱく質が変化し、」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)	
29	175	下中	「水」の「酸性の川を中性にする… p. 163」	不正確である。 (163ページの記述に照らして)	3-(1)	
30	178	中左写真	説明文の「地球の気温が上がることによって、北極海の氷がとけて少なくなってきた。」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (「北極海の氷」について)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。



## 検 定 意 見 書

受理番号 104-182		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
31	178	下右図	上「過去500年間の気温の変化」のグラフ及び下「過去500年間の空気中にふくまれる二酸化炭素の体積の割合の変化」のグラフ	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)	
32	181	下左写真	タイトル「地震にたえられるように」	不正確である。 (114ページ下右写真の説明文「地震のゆれで建物がくずれないように」との対応について)	3-(1)	
33	194	右	「コンデンサーの使い方」全体	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
34	197	8	「消化された養分は、主に小腸から吸収される。」	児童にとって理解し難い表現である。 (32ページ5-6行の「消化された食べ物の養分は、(中略)主に小腸で吸収されます」に照らして、消化されるものについて)	3-(3)	
35	198	中左	「身のまわりの物質をさぐる」の「物質」	児童にとって理解し難い表現である。 (未学習。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-183		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	7	1 - 3	「生きもののすがたについて、どのようなちがいをいえば、わかりやすくつたえられるか話し合い、問題を見つけましょう。」及び4-5行の「問題 生きものは、色、形、大きさなど、すがたにちがいがあるのだろうか。」	児童にとって理解し難い表現である。 (生きもののすがたのちがいの有無について)	3-(3)	
2	16	下囲み	「たねのまき方」全体	児童にとって理解し難い表現である。 (説明不足。)	3-(3)	
3	25	下囲み	「やさいの体」	不正確である。 (表記について)	3-(1)	
4	32	上右	「さなぎ」の「じっさいの大きさ」の囲みの図及び33ページ上左のかんさつカードの「・大きさは、2 cm 5 mm くらい。」	児童にとって理解し難い表現である。 (モンシロチョウの「さなぎ」の大きさについて)	3-(3)	
5	34	下囲み	下左の写真と説明文の「羽化直前のようす」	不正確である。 (相互の関係について)	3-(1)	
6	34	下囲み	下左の写真の説明文の「羽化」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がない。)	3-(3)	
7	36	2 - 3	「カイコガは、えい語でシルクワーム (silkworm) といいます。」	不正確である。 (「カイコガ」と「シルクワーム (silkworm)」の関係について)	3-(1)	
8	36	4	「ワームは「虫」という意味です。」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (「ワーム」の意味について)	3-(3)	
9	36	中右	「多摩おり」の写真の「p-Tie」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-183		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	37	9 - 10	「体が頭、むね、はらの3つの部分からできていて、むねに6本のあしがある虫のことをこん虫という。」	不正確である。 (42ページ3-5行の「こん虫のせい虫の体は、頭、むね、はらの3つの部分からできている。むねには、6本のあしがある。」に照らして)	3-(1)	
11	41	中	「ダンゴムシ」の囲みの「はらには、ふしがない。」	誤りである。 (「ダンゴムシ」の説明として)	3-(1)	
12	45	2 - 4	「トンボのかい方 アカムシやイトミミズなどのえさを入れる。」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (えさの状態によってはトンボのよう虫が餓死する可能性がある。)	2-(1)	
13	45	3	「アカムシ」	不正確である。 (生物の名称として)	3-(1)	
14	51	下囲み	「モンシロチョウのよう虫」の上の図の「むね」と「はら」の境界	不正確である。 (「モンシロチョウのよう虫」の下の図の「むね」と「はら」の境界に照らして)	3-(1)	
15	77	下右	「スズムシ」全体の写真とその下左のはねの一部の拡大写真	児童にとって理解し難い表現である。 (二つの写真の対応について)	3-(3)	
16	77	下右	「スズムシ」のはねの一部の拡大写真	児童にとって理解し難い表現である。 (大きさについて)	3-(3)	
17	78	上右	表「●身の回りの音の大きさ」の「図書館」	児童にとって理解し難い表現である。 (「身の回りの音の大きさ」の項目として説明不足。)	3-(3)	
18	96	下図	「ビオトープ」(2箇所)	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がない。)	3-(3)	
19	113	囲み	「かげのいちを太陽のいちとくらべながら調べよう」全体	児童が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (太陽の位置が変わったことを確かめる方法が示されていない。)	2-(14)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-183		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
20	130	下右	吹き出し内の「かかみ」	誤植である。	3-(2)	
21	133	16 - 18	「かい中電とうの上に水を入れたペットボトルをのせたもののほうが、より明るくてらしていることがわかります。」	児童にとって理解し難い表現である。 (どこを明るくてらしているか説明不足。)	3-(3)	
22	133	19 - 22	「これは、ペットボトルの水に当たったかい中電とうの光がいろいろな方向にはね返されているからです。このように、光をはね返すことを「光を反しやする。」といいます。」	不正確である。 (光の反射の説明として)	3-(1)	
23	147	上左丸 囲み	「スタンドライト」の全体図の「表がわ」	児童にとって理解し難い表現である。 (「表がわ」の指し示す意味について)	3-(3)	
24	147	中央丸 囲み	「スイッチを入れたとき」の図及び上右囲み「スイッチの作り方」の図	児童にとって理解し難い表現である。 (工作用紙の「切れこみ」の位置の対応について)	3-(3)	
25	165	上右写 真	写真	児童が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (写真に写る「ほういじしん」と「じしゃく」が近く、方位を正しく調べられないおそれがある。)	2-(14)	
26	192	19 - 20	「生活科では、いろいろなゴムを使ったおもちゃを作った。」	不正確である。 (必ずしもゴムを使ったおもちゃを作っていない。)	3-(1)	
27	194	ページ 全体	「理科のノートの書き方」の例の中の「計画」における表、及び「けっか」における表	児童にとって理解し難い表現である。 (「理科のノートの書き方」の例の中の「予想」における記述内容と整合していない。)	3-(3)	
28	194	下左の 表	「けっか」の表において「アルミニウムはく」に対する「けっか」の「○」	不正確である。	3-(1)	
29	197	中左囲 み	「インターネットでウェブサイトは、先生や家の人といっしょに見る。」	不正確である。 (「インターネットでウェブサイトは、」)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-183		学校 小学校		教科 理科		種目 理科		学年 3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
30	201	中右	チョウの図の「むね」と「はら」の境界	不正確である。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-184		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 4
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	1	ページ全体	下「←東 南 西→」及び木の影	不正確である。 (対応について)	3-(1)	
2	4 - 5	ページ全体	「季節と生物① 春の始まり」全体、210ページ上の図及び5-8行の「例えば、立春はこの日から春になることをあらわします。ウメの花がさき始め、じょじょにあた	児童にとって理解し難い表現である。 (「春の始まり」のタイミングについて)	3-(3)	
			たかくなり、春の始まりとなります。」			
3	9	中右吹き出し	「データロガーという温度計で調べられるよ。」(以下、221ページ下囲みタイトル「データロガー   気温をはかって記録することができる。」)	不正確である。 (データロガーと温度計の関係について)	3-(1)	
4	18	16	「観察カードに記録する。」及び下の「記録カード…216ページ」	児童にとって理解し難い表現である。 (「観察カード」と「記録カード」との関係について)	3-(3)	
5	32	中右囲み	「注意」の囲み中の図と説明文中の「上のようなつなぎ方」	児童にとって理解し難い表現である。 (「上のようなつなぎ方」について説明不足。)	3-(3)	
6	33	中左囲み	「かん電池」の上の図	児童が誤解するおそれのある表現である。 (「+極」, 「-極」という文字も「かん電池」の電気用図記号に含まれるかのような表現)	3-(3)	
7	43	下右囲み	「別の方法」全体及び47ページ下左囲み「別の方法」全体	児童が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (説明不足。)	2-(14)	
8	57	4 - 9	「セミの仲間は(中略)鳴き始めます。鳴き声を出す虫は、ふつうはおすです。おすは(中略)戦いのときに鳴きます。」	不正確である。 (鳴き声を出す虫、戦いのときに鳴くこと及びはねをこすり合わせて音を出していることについて)	3-(1)	
			鳴き声とよんでいます、実ははねをこすり合わせて音を出しています。」			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-184		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 4
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
9	63	上囲み	左写真「デネブ」と「ベガ」	誤りである。	3-(1)	
10	67	下囲み	「豆電球」の電気用図記号について	不正確である。	3-(1)	
11	77	4 - 5	「じょうぎを当てて地面のかたむきを調べる。」と上右写真	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (じょうぎを当ててるのみで、地面の傾きを調べることは困難である。)	2-(1)	
12	83	下囲み	「じょう水場」全体	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。 (「水のしみこみ方」との関係)	2-(13)	
13	92	7	「川底の土や石に」	不正確である。 (水がしみこみやすいこととの対応について)	3-(1)	
14	107	上右吹き出し	「それぞれの星を30分間写し続けたものだよ。」	不正確である。 (写し続けていない。)	3-(1)	
15	107	21 - 22	「1928年に88この星ざが決められ」	不正確である。 (年について)	3-(1)	
16	107	下囲み	右図「10月午後8時ごろの東京の空に見える星ざ」	不正確である。 (星座以外のものが含まれている。)	3-(1)	
17	122	上右	「ほねのつくり」の図	児童が誤解するおそれのある表現である。 (鎖骨について)	3-(3)	
18	123	上右	「いろいろなきん肉」の囲みの「大たい四頭きん」の説明文の「体全体のきん肉の中で最も大きく、(中略)ひざを曲げたりする。」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (「大たい四頭きん」について)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-184		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 4
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
19	125	23 - 24	「動物のほねやきん肉は、その動物の体に合ったしくみになっています。」	児童にとって理解し難い表現である。 (「動物のほねやきん肉」が「その動物の体に合ったしくみ」になっていることについて)	3-(3)	
20	155	6 - 8	「世界で初めて月以外の天体「イトカワ」に着陸し、2010年に「イトカワ」から細かなかけらを地球に持ち帰ることに成功しました。」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (月以外の天体に着陸したのが「はやぶさ」が世界初であるかのように)	3-(3)	
21	155	10	「2018年に天体「リュウグウ」に着陸し、」	不正確である。 (着陸の年について)	3-(1)	
22	158	中右	「オオカマキリのらんとう」の写真	児童にとって理解し難い表現である。 (「らんとう」について説明不足。)	3-(3)	
23	162	下左囲み	「気温が上がっていく季節」及び「夏の終わり」	不正確である。 (対応関係について)	3-(1)	
24	165	下左	「11月」の写真の左の温度計の図	児童にとって理解し難い表現である。 (11月の気温について、132ページ上の観察カードの気温の記述(三箇所)に照らして)	3-(3)	
25	175	中右	「示温インクを熱し続けていると、急にあわ立ち、ふき出すことがある。」	不正確である。 (熱するものについて)	3-(1)	
26	210	中図	「大寒」のルビ「たいかん」	不正確である。	3-(1)	
27	214	中左	計画①「すな場の土」	不正確である。 (結果との対応について)	3-(1)	
28	217	中左囲み	「インターネットでウェブサイトは、先生や家の人といっしょに見る。」	不正確である。 (「インターネットでウェブサイトは、」)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。



## 検 定 意 見 書

受理番号 104-185		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 5
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	17	7 - 9	「発達した積乱雲が次々と発生し、同じ場所を通ったり、とどまったりして、雨雲が線状にのびることがあります。」(以下、下左図説明文1行「線状にのびた雨雲」)	不正確である。 (9ページ下右「乱層雲」説明文「雨をふらすので雨雲ともよばれている」との対応について)	3-(1)	
2	37	13 - 14	「植物の成長に必要なもの」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明不足。)	3-(3)	
3	38	4	「子葉になる部分」	不正確である。 (30ページ下図との対応について)	3-(1)	
4	45	10 - 12	「③1、2日おきに観察する。子メダカが生まれたら、子メダカ用の水そうにうつす。」及び下の「別の方法」の囲みの「スライドガラスで観察する方法」の記述全体	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (スライドガラス上で継続的に飼育した場合、孵化前に死亡する可能性がある。)	2-(1)	
5	46	中左	「受精後 5時間」の説明文の「上のほうから変化が始まってくる。」	児童にとって理解し難い表現である。 (「上」について)	3-(3)	
6	49	上囲み	下右の「ふ化1日後」の写真	児童にとって理解し難い表現である。 (大きさについて)	3-(3)	
7	51	下囲み	写真の「前橋メダカ」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がない。)	3-(3)	
8	51	下囲み	「地いきのメダカを守ろう」全体	発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)	
9	81	写真	「大雨のときの川の様子」と「大雨がふった後の川の様子」	児童にとって理解し難い表現である。 (写真とタイトルの対応について)	3-(3)	
10	83	4 - 6	2「だんボールなどで作った型にそってみぞをつけ、流路をつくる。」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明不足。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-185		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 5
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	101	下囲み	右写真説明文の「かん境」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がない。)	3-(3)	
12	119	下囲み	「ミョウバンの結しよう」全体(ただし、15行「このようなつづを結しようといひます。」及び10行、16行、中右の「結しよう」の用語を除く。)	発展的な学習内容には該当しない。	2-(15)	
13	136	ページ全体	「より正確な時こくを求めて」全体	発展的な学習内容には該当しない。	2-(15)	
14	136	下右	「光格子に集めたもののしん動を」	児童にとって理解し難い表現である。 (「光格子」について説明がない。)	3-(3)	
15	148	中左吹き出し	「電流の大きさは、かんい検流計や電流計で調べることができたね。」	児童にとって理解し難い表現である。 (「電流計」についての説明がない。)	3-(3)	
16	160	上右	図の「子宮」と「胎児」	児童にとって理解し難い表現である。 (図中のどれが「子宮」で、どれが「胎児」であるのか)	3-(3)	
17	162	上中	「受精後 約4週間」の図の「●大きさは約0.6cm ●体重は約4g」	不正確である。 (「受精後 約4週間」の「大きさ」と「体重」の関係について)	3-(1)	
18	179	中左囲み	「インターネットでウェブサイトは、先生や家の人といっしょに見る。」	不正確である。 (「インターネットでウェブサイトは、」)	3-(1)	
19	192	上右	水そうの図と、「まさきさん」の吹き出しの「メダカは20びきいるのに、」	相互に矛盾している。 (メダカの数について)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-186		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	表見返	中吹き出し	「中の液体をなめてみたらわかるんじゃない？」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (実験に用いる薬品をなめても問題ないかのような表現。)	3-(3)	
2	16	2 - 3	「ろうそくは、酸素の中ではほのおが大きくなって燃え、ちっ素や二酸化炭素の中ではすぐに消えました。」及び110ページ中吹き出し「線こうがすぐに消えたということは…」	不正確である。 (消えたものについて)	3-(1)	
3	27	3 - 4	「同じような大きさの、ジャガイモの葉3枚にアルミニウムはくをくるむようにかぶせ、」及び右の㊸から㊹の図	児童が誤解するおそれのある表現である。 (㊸から㊹に示したそれぞれが1枚の葉であるかのような表現。)	3-(3)	
4	31	3 - 5	「㊱ヒマワリやホウセンカなどの植物は、上から見ると葉がほかの葉と重ならないようにしています。なぜ葉が重なっていないのか考えて、理由を説明しましょう。」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)	
5	47	13 - 14	「血液に吸収されたもので不要なもの」及び48ページ7行の「血液中で不要になったもの」	児童にとって理解し難い表現である。 (異同について)	3-(3)	
6	49	下右	「すい臓 「すい液」という消化液をつくる。」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)	
7	58	下右写真	「植物染色液」の「Fantasy」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
8	68	7	「このことを( )という。」	不正確である。 (64ページ4行「水が水蒸気となって、植物の体から出ていくことを蒸散という。」との対応上)	3-(1)	
9	76	上左写真	「トンビ」	不正確である。 (生物名の表記について)	3-(1)	
10	76	下左	「やご」	児童にとって理解し難い表現である。 (生物名について)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-186		学校 小学校		教科 理科		種目 理科		学年 6	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	77	下	「ミジンコ」及び「イカダモ」の各写真	児童にとって理解し難い表現である。 (大きさについて)	3-(3)				
12	80	2 - 3	「生物は生きていくために、空気から何を取り入れたり、出したりしたか思い出してみましょう。」	不正確である。 (生命活動の記述として)	3-(1)				
13	83	7 - 8	「約20億年以上前に日光に当たると酸素を発生させる小さな生物が海の中に現れました。」	不正確である。 (年代について)	3-(1)				
14	84 - 86	ページ 全体	「3 水を通した生物どうしの関わり」の記述全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (「第6学年」の内容「B 生命・地球」の(3)のアの(ア)「生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていること。」)	2-(1)				
15	87	囲み	上右の「水の使い道」の円グラフ、中の「1人当たりの1日に必要な水」の数値及び下右の「地球上の水の割合」の円グラフ	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)				
16	87	14 - 16	「私たちが生活に利用できる水は、地球上にある水全体の体積の約1.76%だと考えられています。」	児童にとって理解し難い表現である。 (「生活に利用できる水」について説明不足。)	3-(3)				
17	94 - 95	上写真	94ページ下左の「←東」と95ページ上右の「3月」	不正確である。 (対応について)	3-(1)				
18	98	下図	黒板の図	不正確である。 (96ページ観察記録との対応について)	3-(1)				
19	99	上中吹き出し	「太陽と月を何かに見立てて」(以下、135ページ上右吹き出し「川や海などを何かに見立てると」)	不正確である。 (「見立てる」の用法について)	3-(1)				
20	102	下囲み	「月と太陽の実際の大きさときより」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-186		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
21	129	下吹き出し	「同じ大きさや同じ種類のつぶが集まって、それらが重なったものを層というよ。」	不正確である。 (「層」の説明として)	3-(1)	
22	132	3	「の大きさ」	不正確である。 (「集まってできており」との対応について)	3-(1)	
23	132	11	「約12万6千年前」	不正確である。 (年代値として)	3-(1)	
24	135	5	「砂と土」(以下、135ページ上左吹き出し「砂や土」、中右囲み「砂と土」、下写真「砂と土」、136ページ上左写真「砂と土」、中左吹き出し「砂や土」)	不正確である。 (132ページ3～4行「土地は、れきや砂、どろのつぶの大きさや、火山灰などが集まってできており、それらが重なって層をつくっている」との対応について)	3-(1)	
25	145	2 - 3	「土地にずれ(断層)ができるときに、地震が起こる。」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (新たに断層が生じると誤解する。)	3-(3)	
26	146	10	「地形が変わることで」	不正確である。 (「わき水や温泉がわく」との関係について)	3-(1)	
27	150	下右写真	タイトル「地震でずれた断層」(以下、151ページ中図の「地震によって土地がずれてできた。」)	児童が誤解するおそれのある表現である。 (地震のゆれが原因で断層が生じると誤解する。)	3-(3)	
28	151	中右図	「㊦ 地震によって土地が盛り上がってきた。」全体	不正確である。 (設問として)	3-(1)	
29	176	2	「地球温暖化」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がない。)	3-(3)	
30	183	上右写真	潮力発電の写真とその説明文	不正確である。 (「タービン」について)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-186		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
31	183	ページ全体	「脱炭素社会への取り組み」全体	児童にとって理解し難い表現である。 (説明不足。)	3-(3)	
32	184	ページ全体	「効率的に電気を利用する技術」全体	児童にとって理解し難い表現である。 (説明不足。)	3-(3)	
33	184	8 - 10	「ZEHは、自宅で使う電気の量を減らし、自宅で発電する電気の量を増やすことを目指した家のことをいいます。」	不正確である。	3-(1)	
34	191	11	「約5倍」	不正確である。 (数値について)	3-(1)	
35	200	上右	「【原因】プラスチックごみの増加」のグラフ	通常の方法に従って記載されていない。 (縦軸に0がなく、横軸の目盛りが折れ線グラフと対応していない。)	3-(5)	
36	205	7	「エネルギー」(以下、204ページ26行の同語)	児童にとって理解し難い表現である。 (説明不足。)	3-(3)	
37	215	中左囲み	「インターネットでウェブサイトは、先生や家の人とっしょに見る。」	不正確である。 (「インターネットでウェブサイトは、」)	3-(1)	
38	230	上囲み	「日本で観測した月ごとの平均二酸化炭素のう度」のグラフ	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-187		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	2	下	「3年生で育てる植物」の囲みのカレンダーの○印と線が示す時期	児童にとって理解し難い表現である。 (意味するところについて)	3-(3)	
2	5	下左	「▶理科の世界をふりかえろう 190ページ」	誤りである。 (ページについて)	3-(1)	
3	27	11	「レンズ」(以下, シャ光板の写真から引き出された「レンズ」)	不正確である。 (レンズではない。)	3-(1)	
4	52	上左	「葉を食べているモンシロチョウのよう虫」の写真及び56ページ下の左から2つ目の写真	児童にとって理解し難い表現である。 (画像の反転について)	3-(3)	
5	59	5 - 11	「5 かんさつ」全体	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして, 扱いが不適切である。 (内容の取扱い(3)のアの「アの(イ)及び(ウ)については, 飼育, 栽培を通して行うこと。」)	2-(1)	
6	59	下右	「トンボのよう虫」の図の「えさ(ユスリカのような虫やイトミミズ)」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (えさの状態によってはトンボのよう虫が餓死する可能性がある。)	2-(1)	
7	62	3 - 7	「チョウのからだは, 頭・むね・はらの3つの部分に分けることができます。チョウのむねには, あしが6本ついています。」	不正確である。 (76ページ1-3行の「こん虫の成虫のからだは, 頭・むね・はらの3つの部分に分けることができます。むねには, あしが6本ついています。」に照らして)	3-(1)	
			このようなからだのつくりをしているなかまを, こん虫といいます。」			
8	67	下左	「ヒマワリグラフ」全体(以下, 82ページ上右グラフ)	通常の方法に従って記載されていない。 (縦軸に0がない。)	3-(5)	
9	83	下囲み	「ドングリ」(2箇所)	不正確である。 (表記について)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-187		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	118	下右	「ゴムの力で動く車」と120ページ2行 「ゴムで動く車」	表記が不統一である。	3-(4)	
11	140	下左写真	「インクに金ぞくがふくまれているペン」によって作成された回路の写真全体	児童にとって理解し難い表現である。 (回路が短絡しているように見えるのに、発光ダイオードが光っている。)	3-(3)	
12	184	18右	「日光のはわせ方……95」	不正確である。 (ページについて)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。



## 検 定 意 見 書

受理番号 104-188		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 4
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	表見返 - 1		写真とタイトルの「権現堂のサクラ（埼玉県 久喜市）」	不正確である。 (対応について)	3-(1)	
2	15	上囲み	写真の地名及び地図中に引出線で示した地点	不正確である。 (対応関係について)	3-(1)	
3	31	ページ 全体	「やってみよう 空気でっぽうで玉を飛ばそう」全体	作業の安全について適切な配慮がされていない。 (手がつつに当たり, けがをするおそれがある。)	固有 1-(1)	
4	37	1	「水でっぽうで玉を飛ばそう」	不正確である。 (飛ばすものについて)	3-(1)	
5	42	19 - 20	「はりのふれが小さいときは, スイッチを0.5A (光電池・豆球) の方に切りかえ, 」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明不足。)	3-(3)	
6	55	下左	「学んだことと関係付けながら」	不正確である。 (既習事項に照らして)	3-(1)	
7	68	下囲み	「<じゅんび>」の「じょうぎ」	児童にとって理解し難い表現である。 (用途について)	3-(3)	
8	71	上囲み	写真の「クマゼミ」、「ヒグラシ」、「ミンミンゼミ」及び「ニイニイゼミ」	児童にとって理解し難い表現である。 (大きさについて)	3-(3)	
9	81	図	「夏の大三角」を示す線	不正確である。 (星を正確に結んでいない。)	3-(1)	
10	111	2	「水のゆくえについて予想し, 」	不正確である。 (置き位置について)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-188		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 4
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	114	6	「また、どうすれば調べられるだろうか。」	不正確である。 (「計画」との関係について)	3-(1)	
12	123	ページ 中央	「2 実験」全体	児童が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (ポリエチレンのふくろについての記述が不足している。)	2-(14)	
13	144	9 - 13	「説明してみよう」全体 (3枚の写真を含む)	作業の安全について適切な配慮がされていない。 (児童が車道に立ち入る危険性についての配慮がされていない。)	固有 1-(1)	
14	144	10	「大きな橋や高速道路は、鉄骨(金ぞく)をつないでつくられています。」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (全ての高速道路について言えるかのような表現。)	3-(3)	
15	176	上右	「あん馬の競技を行う橋本大輝選手」	表記の基準によっていない。 (「学年別漢字配当表」において当該学年より後の学年に配当されている漢字の初出の際に読み方を示していない。)	3-(4)	
16	177	上右吹 き出し	「うでにきん肉がついているね。うで以外にどんなところについているのかな。」	児童にとって理解し難い表現である。 (184ページ6行の「ほねには、きん肉がついている。」に照らして)	3-(3)	
17	179	5 - 6	「1 自分のうでや手の形を、紙に写し取る。 ●タブレットなどで写して使用してもよい。」及び10-11行の「3 自分の手の曲がるところにシールをはる。 ●調べた結果を紙に記録する。」	児童が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (「1」で紙に写し取る代わりにタブレットなどで写した場合に、「3」の活動をどのように行うのか説明不足。)	2-(14)	
18	190	下	「さわると手がかぶれる植物」の「カエンタケ」	誤りである。 (カエンタケは植物ではない。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-189		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 5
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	22	下右	二次元コード	誤記である。	3-(2)	
2	30	6 - 7	「芽がのびたころ」(以下、「<準備>」, 中右写真及び31ページ上右写真)	不正確である。 (表記について)	3-(1)	
3	39	中右図	「㊦」の場所	児童にとって理解し難い表現である。 (この場所での植物の栽培について)	3-(3)	
4	61	上左写真	説明文「那賀川」	誤りである。	3-(1)	
5	62	下右表	「ひなん準備が整いしだい、ひなん開始」及び「すみやかにひなん ひなんを終える」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (警戒レベルに対応した「取るべき行動」について)	3-(3)	
6	64	下左	「加藤英明、カミツキガメを追う！」の図書の写真の「Gakken」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
7	71	下囲み	下左の「インゲンマメの花粉(約100倍)」とその写真	不正確である。 (大きさについて)	3-(1)	
8	78	中右	丸囲み写真全体	児童にとって理解し難い表現である。 (破線○印の重なりについて)	3-(3)	
9	78	中右	「185ページ」	誤りである。 (参照先について)	3-(1)	
10	86	3 - 5	「現在わたしたちは、気象衛星から送られてくる気象情報をもとに、天気を予想しています。」	不正確である。 (ここでの学習との対応について)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-189		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 5
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	93	2 - 3	「都道府県ごとに1～3の地方気象台があり、」	不正確である。 (地方気象台について)	3-(1)	
12	93	下右写真	説明文「現在は正式な業務ではなくなった観測も多くあるが、その技術は受けつがれている。」	不正確である。 (気象台における業務について)	3-(1)	
13	119	下右写真	タイトル「遊水池」	誤記である。	3-(2)	
14	133	7	「50まき」	脱字である。	3-(2)	
15	138	3	「導線を同じ向きに何回もまいたもの」	児童にとって理解し難い表現である。 (122ページ下右囲み「導線を同じ向きにまいたもの」との対応について)	3-(3)	
16	154	上左表	水の量が75 mLのときのミョウバンの結果「さじ2はい」及び8行「水の量を増やすと、食塩やミョウバンのとける量は増える。」	児童にとって理解し難い表現である。 (相互の関係について)	3-(3)	
17	159	8 - 9	「50mLの水を60℃に温めて、ミョウバンを20gとしました。 (1) 水溶液の重さは全体で何gになりますか。」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (50mLの水の重さが示されておらず、解答できないおそれがある。)	2-(1)	
18	173	中右	「100ページ」	誤りである。 (参照先について)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-190		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	3	上右	「環境と私たちの暮らし」(以下, 5行, 裏表紙中左の同表現)と6ページ左「私たちの環境と暮らし」	表記が不統一である。	3-(4)	
2	6	下	「8ページを見るなどして」	誤記である。 (参照ページについて)	3-(2)	
3	11	下右吹き出し	「火を燃やし続けるには, 」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (ものの燃え方の学習において, 指摘事項では, 燃やす対象が「火」となっており, 児童が混乱するおそれがある。)	2-(1)	
4	25	下	酸素と二酸化炭素を集気びんの中に入れていた図	不正確である。 (酸素と二酸化炭素が同体積であることを示す青い点線の位置について)	3-(1)	
5	30 - 49		「2 人や動物の体」全体	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして, 扱いが不適切である。 (内容の取扱い(3)のアの「アの(ウ)については, 心臓の拍動と脈拍とが関係することにも触れること。」)	2-(1)	
6	33	24	「ポリエチレン」	誤植である。	3-(2)	
7	41	下左	「小腸の内側」の写真と説明文の「たくさんひだがある。」	児童にとって理解し難い表現である。 (「たくさんひだ」について)	3-(3)	
8	41	下右	「小腸のつくり」の図の桃色の矢印	不正確である。 (指す位置について)	3-(1)	
9	41	下右	「小腸のつくり」の図の桃色の矢印	児童にとって理解し難い表現である。 (「養分」及び「細い血管」との関連について)	3-(3)	
10	48	上	設問の「①」の「(2)」の「血液中に何を取り入れ, 血液虫から何を出して」	誤植である。 (「血液虫」について)	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-190		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	53		「㊦と㊧の葉」及びその下の「㊦」及び「㊧」の写真（以下、54ページ上右「㊧の葉」、 「㊦と㊧の葉」56ページ上図「㊧の葉」、 「㊦の葉」、 「㊧の葉」、 64ページ上図「㊧の葉」、 「㊦の葉」及び「㊧の葉」)	児童が誤解するおそれのある表現である。 (「㊦」と「㊧」で示したそれぞれが、1枚の葉であるかのような表現。)	3-(3)	
12	56	中右	児童のノートの「考察」の「葉㊧にでんぶんができていなかったいから、」	不正確である。 (日本語表現として)	3-(1)	
13	68	上左写真	説明文の「ドングリを食べるアカネズミ」	不正確である。	3-(1)	
14	74	2 - 3	「人間によってほかの地域から持ちこまれた生物を「外来生物」といい、」	不正確である。 (外来生物の説明として)	3-(1)	
15	76	上囲み	タイトルの「生物の体にふくまれる水の割合」	児童にとって理解し難い表現である。 (何についての割合であるのか)	3-(3)	
16	76	上囲み	「生物の体にふくまれる水の割合」の図	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)	
17	82	下右	「イラスト図解で日本と世界がわかる！親子で学ぶSDGs」の本の写真の「日本文芸社」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
18	83	上右写真	説明「西表島市」	誤りである。 (地名について)	3-(1)	
19	95	下	「3 左右のうでのおもりの重さ「g」と支点からのきより「cm」の積を求めて、左右の数値を比べる。」	児童にとって理解し難い表現である。 (「おもりの重さ「g」と支点からのきより「cm」の積」について)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-190		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
20	99	中右図	「ペンチ」の図	児童にとって理解し難い表現である。 (作用点が示されていない。)	3-(3)	
21	112	囲み	上中写真「クレーター「アサダ」がある場所」の○印と引き出し線	不正確である。 (「アサダ」の場所について)	3-(1)	
22	115	1 - 3	「月をボールに、太陽をかい中電灯などの光源に、いすにすわった人を観測者に見たて、」	不正確である。 (「見たてる」の用法について)	3-(1)	
23	117	下囲み	「観測者と太陽、月の位置関係が変化し、」	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い(6)の「地球から見た太陽と月との位置関係で扱うものとする」)	2-(1)	
24	125	中右図	「灰色の色のどろ」	誤記である。	3-(2)	
25	145	1	「大地にずれ(断層)が生じるとき、地震が起こる。」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (新たに断層が生じると誤解する。)	3-(3)	
26	151	3	「地震にたえる」(以下、12行「地震にたえられる」)	不正確である。 (「たえる」対象について)	3-(1)	
27	152	図	「立山・黒部」	不正確である。 (ジオパークの名称として)	3-(1)	
28	166	下右囲み	「植物の灰をとかした水」及び167ページ下右吹き出し「ムラサキイモパウダーをとかした液」	不正確である。 (「とかした」の意味を考慮すると)	3-(1)	
29	182	下右図	図全体	不正確である。 (乾電池の極性と符号の対応について)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-190		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
30	193	上右吹き出し	「電気をが光だけでなく、音にも変わっているよ。」	誤記である。	3-(2)	
31	197	下囲み	「しょうげきを感知するセンサー」	不正確である。 (「しょうげきを感知するセンサー」の位置について)	3-(1)	
32	198	1	「プログラミング」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がない。)	3-(3)	
33	198	中段の図	「実行ボタン」のアイコン(2箇所)	表記が不統一である。 (それぞれの「実行ボタン」のアイコンの色について)	3-(4)	
34	201	11 - 13	「プログラムを組み」, 「プログラムを組む」, 198ページの「プログラムを作り」及び, 199ページから200ページの「プログラムを作る」	表記が不統一である。	3-(4)	
35	207	下右	「空気中の二酸化炭素の体積の割合の変化」のグラフ及び「(IPCC第4次評価報告書統合報告書より)」	不正確である。 (グラフと典拠との対応について)	3-(1)	
36	209	5 - 8	「1人(大人)が1日生きていくために必要な水の量は、およそ2.5Lとわれています。しかし、日本国内で1人が1日に生活の中で使う水の量は、平均214Lです。」	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)	
37	210	1 - 2	「食物のもとをたどると、すべて植物にいってきます。」	不正確である。 (73ページ中左の「水中の小さな生物」を考慮すると)	3-(1)	
38	210	中右	「食物」を中心に描かれた図	児童にとって理解し難い表現である。 (説明不足。)	3-(3)	
39	210	下左吹き出し	「マップ」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。



## 検 定 意 見 書

受理番号 104-190		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
40	214	3	「絶滅危惧種」	児童にとって理解し難い表現である。 (未学習。)	3-(3)	
41	215	中右図	「地球の大気を格子で区切ったイメージ」	児童にとって理解し難い図である。 (本文との関連について)	3-(3)	
42	221	下左の分類図	「iPad」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
43	227	24	「目もりに合わせる」	児童にとって理解し難い表現である。 (「目もり」について)	3-(3)	
44	232	8 左	火山灰「126」(以下, 中12行の砂「126」, 右3行のどろ「126」, 右10行の噴火「145」, 右14行のよう岩「145」, 右18行のれき「126」)	誤記である。 (掲載ページについて)	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-191		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	15	上	「ナナホシテントウ」、「クロオオアリ」及び「オカダンゴムシ」の写真の説明文の「大きさ」とその数値	児童にとって理解し難い表現である。 (どこの長さであるのか)	3-(3)	
2	17	22 - 23	「(れい) 右のずかんでモンシロチョウを調べるとき ① 「チョウのなかま」をさがす。」及び右のずかんの左上の「チョウやガのなかま(チョウ目)」	児童にとって理解し難い表現である。 (「チョウのなかま」と「チョウやガのなかま」の異同について)	3-(3)	
3	25	1 - 2	「たねからめがでてきました。ハウセンカは、はじめに子葉を出します。」	児童にとって理解し難い表現である。 (はじめに出るものについて)	3-(3)	
4	44	2 - 3	「トンボは、チョウと同じこん虫のなかまです。」	児童にとって理解し難い表現である。 (「チョウと同じこん虫のなかま」について)	3-(3)	
5	44	下囲み	「トンボの育て方」の ㊦ 右のようなえさをあたえる。」及び右の「イトミミズ」、「あかむし」、「ミミズ」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (えさの状態によってはトンボのよう虫が餓死する可能性がある。)	2-(1)	
6	76	5 - 7	「こん虫の体は、どれも、頭、むね、はらの3つの部分からできていて、頭に目や口があり、むねに6本のあしがあり、はらにいくつかのふしがあります。」	不正確である。 (42ページ6-8行の「チョウのせい虫の体は、頭、むね、はらの3つの部分からできていて、あしが6本あります。このような体のつくりをした生き物のなかまをこん虫といいます。」に照らして)	3-(1)	
7	82	上囲み	「バッタ」の図の「むね」と「はら」の境界及び189ページ下右の「バッタ」の図の「むね」と「はら」の境界	児童にとって理解し難い表現である。 (76ページ上左の「バッタ」の図の、「むね」と「はら」の境界に照らして)	3-(3)	
8	94	下左吹き出し	「太陽がある向きの反対がわに下じきをかざすと、」	不正確である。 (反対がわについて)	3-(1)	
9	141	6 - 8	「金、銀、どうのメダルは、どれも同じ体積で、金、銀、どうのじゅんに重くなっています。」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (重さの順序について)	3-(3)	
10	168	12 - 13	「ぼうじしゃくのはしをきょくといい」	不正確である。 (棒磁石以外の磁石を考慮すると)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-191		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	170	下囲み	「チャレンジ」の中の「時計皿」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がない。)	3-(3)	
12	171	囲み	図の説明文「地球上のどこでも」	不正確である。	3-(1)	
13	183	囲み	「理科室の使い方」全体	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-192		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 4
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	15	下囲み	「観察2」全体	「そうがん鏡」を使用する際の作業の安全について適切な配慮がされていない。 (太陽を見てはいけないことについて注意がない。)	固有 1-(1)	
2	18	上右図	「サクラの花のさくころ」全体	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)	
3	18	上右図	「エゾヤマザクラ」, 「ソメイヨシノ」及び「ヒカンザクラ」	児童にとって理解し難い表現である。 (タイトルの「サクラ」との関係について)	3-(3)	
4	18	上右	北海道に示された「4月10日～4月20日」の線	児童にとって理解し難い表現である。 (本州に示された「4月10日～4月20日」の線との関係について)	3-(3)	
5	36	上中	図の「ひざの関節」の引出線	児童が誤解するおそれのある表現である。 (「ひざの関節」について)	3-(3)	
6	81	表	「つぶが見えない。」	不正確である。 (80ページ上の「運動場の土」の写真との対応について)	3-(1)	
7	87	6	「こう水のひ害」	不正確である。 (自然現象と被害の関係について)	3-(1)	
8	138	9	「金ぞくの温度による体積を調べる器具」	不正確である。 (「温度による体積」)	3-(1)	
9	143	21 - 24	「鉄道のレールのつなぎ目の部分は金ぞくでできていて、すきまがあります。冬にくらべて夏は、このすきまの部分の大きさはどうなるのでしょうか。」及び下右のレールの写真	児童にとって理解し難い表現である。 (相互の関係について)	3-(3)	
10	150	下左	「熱って」	誤記である。	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-192		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 4
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	219	19 - 21	「はりのふれが小さいときは、切りかえスイッチを「光電池・豆球」のほうにして、」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明不足。)	3-(3)	
12	222	上囲み	「アルコールランプの使い方」全体（以下、223ページ囲み「理科室の使い方」全体）	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
13	228	8 - 12	「●季節から、調べたい星や星ざをさがそう。季節によって見られる星や星ざが決まっています。」及び中右図	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)	
14	230	中右	「アルコールランプ使い方」	脱字である。	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-193		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 5
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	19	下囲み	「気こう変動により増える災害」全体	発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)	
2	19	16	「こうずいなどの災害」(以下、100ページ2-3行「こうずいや山くずれなどの災害」、及び122ページ3行「こうずいなどの災害」)	不正確である。 (現象と災害との関係について)	3-(1)	
3	19	23 - 24	「局地的大雨やたつまきなどの災害をもたらす気象現象は、増えつつあります。」	不正確である。 (竜巻の発生件数について)	3-(1)	
4	22	上左	丸囲み写真の「種子」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がない。)	3-(3)	
5	54	上中	「12時間後 細かいつぶがたくさん見られる。」の写真	児童にとって理解し難い表現である。 (「細かいつぶ」について)	3-(3)	
6	57	15	「かんきょう」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がない。)	3-(3)	
7	77	上左囲み	「学習前のこうきさん」の「アサガオやヘチマの花は、どうすると実になるのかな？」(以下、90ページ下左及び91ページ9行「アサガオの花が実になる」)	不正確である。 (学習内容に照らして)	3-(1)	
8	80	上	「めしべの先」の写真	児童が誤解するおそれのある表現である。 (1行目「おしべの先にある粉は、花粉といいます。」との対応上、写真のめしべの先に花粉がついていないかのように誤解する。)	3-(3)	
9	100	中左写真	「台風による高波」	不正確である。 (4行「台風がもたらす強風でひ害が生じることもあります。」の例として)	3-(1)	
10	107 - 109	写真	全体	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。 (川の上流と下流についての資料として)	2-(13)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-193		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 5
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	116	下右吹き出し	「土を運ばんするはたらきが大きくなるのなら、・・・、土を運ばんしたりするはたらきも大きくなると思うよ。」	不正確である。 (論理が成り立たない。)	3-(1)	
12	141	3	「かん電地」	誤植である。	3-(2)	
13	151	下左	「一度にあまり多くの食塩を入れないようにする。」、8-11行「ビーカーの底に食塩のつぶが残ったら、ガラスぼうで静かにかき混ぜて、様子を見る。」及び158ページ1-2行「実験2の結果	児童にとって理解し難い表現である。 (ミョウバンについての指示がないことについて)	3-(3)	
			から、食塩が水にとける限度について、自分の予想が確かめられたかを考えましょう。」			
14	166	下左	「2つの水よう液の一方だけを氷水で冷やす。」	児童にとって理解し難い表現である。 (「2つの水よう液」について説明不足。)	3-(3)	
15	186	3 - 5	「体内では、たいばんを通して、母親から養分などを取り入れ、不要なものを送り出している。」及び188ページ8-9行の同表現	児童にとって理解し難い表現である。 (「体内では、」について)	3-(3)	
16	191	上中	「人」の図の「人の受精卵」の図の右の、母体の模式図の子宮の構造	児童にとって理解し難い表現である。 (182ページ上左の母体の模式図の子宮の構造に照らして)	3-(3)	
17	195	上囲み	7行の電流の単位「A(アンペア)」及び13行の「mA(ミリアンペア)」。(以下、140-141ページ全体における同表現。)	児童にとって理解し難い表現である。 (説明不足。)	3-(3)	
18	199	ページ全体	「理科室の使い方」全体	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
19	201	下右表	水の量の単位の「ml」(3箇所)	児童にとって理解し難い表現である。 (リットルが小文字表記になっていることについて)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-193		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 5
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
20	204	1 - 4	「空を見て雲の名前やとくちょうを知りたいときは、気象ずかんを使って調べましょう。このとき、雲の高さや形などを手がかりに調べるとよいです。」、「気象ずかん」全体及び上右写真	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
21	206	中右	「アルコールランプ使い方」及び207ページ中右の同表現	脱字である。	3-(2)	
22	206	下	「新しい生命を育てて守る」	不正確である。 (57ページとの対応について)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。



## 検 定 意 見 書

受理番号 104-194		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	3	21 - 22 左	「●メダカにはめすのたまごと、おすの精子が、結びついて受精する。」	不正確である。 (結びつくものについて)	3-(1)	
2	8 - 23		「1 ものの燃え方と空気」全体, 88-105ページ「5 てこ」全体, 150-171ページ「8 水溶液」全体, 172-193ページ「9 電気の利用」全体	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (ものづくりを行う種類が、指摘事項の項目ごとに順に0種類, 0種類, 0種類, 1種類となっており、内容の取扱い(1)の「内容の「A物質・エネルギー」の	2-(1)	
				指導に当たっては、2種類以上のものづくりを行うものとする。」に照らして)		
3	12	10 - 11	「ろうそくの火が燃え続けることができます。」及び49ページ20行「火を燃やして」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (ものの燃え方の学習において、指摘事項では、燃える対象が「火」となっており、児童が混乱するおそれがある。)	2-(1)	
4	12	11 - 14	「火をつけるときに使うガスマッチも、燃えたあとの空気と新しい空気を入れかわることができるようにくふうされています。」	不正確である。	3-(1)	
5	12	下右	「底のない集気びんの空気での入れかわる様子」	不正確である。	3-(1)	
6	18	7 - 12	「空気にふくまれる酸素や二酸化炭素の量を調べるには、気体検知管のほかに右のような、デジタル気体検知管などを使って調べることができます。」	不正確である。 (器具の名称について)	3-(1)	
7	19	中左	「酸素検知管」	児童にとって理解し難い表現である。 (18ページ上右「酸素用検知管」との違いについて)	3-(3)	
8	28	下左吹き出し	「酸素が減ったという結果が自分の見通しと違ったから、酸素を取り入れて、二酸化炭素を出しているという予想が確かめられました。」	児童にとって理解し難い表現である。 (「二酸化炭素を出しているという予想が確かめられました」とする根拠について)	3-(3)	
9	32	下	「だ液のかわりになる胃腸薬」の記述全体	児童が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (「だ液と似たはたらきをする成分がふくまれている」胃腸薬について説明不足。)	2-(14)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-194		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	34	中右吹き出し	「ご飯が別のもの変わった」	児童にとって理解し難い表現である。 (3-4行の「ご飯にふくまれるでんぷんは、(中略)でんぷんではない別のもの変わる」に照らして、別のもの変わるものについて)	3-(3)	
11	48	下右	「学習後のみさきさん」の囲みの「食べ物、体の中に取り入れて体じゅうに運ばれる」	不正確である。 (39ページ2-3行の「養分は、(中略)体のすみずみまで運ばれます」に照らして、運ばれるものについて)	3-(1)	
12	49	22	「なぜしょうか。」	脱字である。	3-(2)	
13	52	中右	「切り花着色剤」の写真の「ファンタジー」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
14	58	中左吹き出し	「葉を残したほうだけ水できがついたね。」	不正確である。 (実験2の結果に照らして)	3-(1)	
15	59	10	「葉を湯の中に入れてやわらかくする。」(以下、下右囲み)	児童が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (湯の温度について説明がない。)	2-(14)	
16	60	上中吹き出し	「でんぷんがあるだね。」	脱字である。	3-(2)	
17	62	中吹き出し	「朝に①にでんぷんがない結果と、午後②だけにでんぷんがある結果から、日光が当たった葉で、でんぷんがつくられたといえます。」	不正確である。 (論理について)	3-(1)	
18	77	1	「生き物どおしの」	誤記である。	3-(2)	
19	85	2 - 8	「函館山は、北海道の最南部にあるつき出た山で、北海道の植物の広がり南限に位置します。 その一方で、本州の植物の広がり北限にも位置します。」	児童にとって理解し難い表現である。 (「北海道の植物」、「本州の植物」、「南限」及び「北限」について)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-194		学校 小学校		教科 理科		種目 理科		学年 6	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
			そのため、函館山は北海道の南限と本州の北限が交じり合って、多種多様な自然の姿を残してきました。」						
20	85	3 - 8	「北海道の植物の広がり南限に位置します。その一方で、本州の植物の広がり北限にも位置します。そのため、函館山は北海道の南限と本	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)				
			州の北限が交じり合って、多種多様な自然の姿を残してきました。」						
21	85	9 - 16	「ところが、近年の函館山は、外来種による問題が起きています。外来種とは、その地域に元々いなかったのに、人によって持ちこまれた生き物です。外来種が持ちこまれると、その地域に	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)				
			元々いる生き物のすみ場所や食べるものがうばわれてしまうことがあります。現在、函館山の多種多様な自然の姿を残していくために、多くのボランティア						
			アの方々が参加して、外来種を取り除く努力が続けられています。」						
22	85	10 - 11	「外来種とは、その地域に元々いなかったのに、人によって持ちこまれた生き物です。」	不正確である。 (「外来種」の説明として)	3-(1)				
23	91	7	「思ったこと話し合しましょう。」	脱字である。	3-(2)				
24	99	11 - 12	「てこを使ってものを持ち上げ、棒が水平になるとき、てこをかたむけるはたらきは、てこの左右で等しいので、ある決まった数になります。」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明不足。)	3-(3)				
25	110	8	「土」(以下、110ページ9行、上左吹き出し、上右吹き出し、112ページ12行、上左吹き出し、上右吹き出し、113ページ5行、上吹き出し、136ページ5行の同表現)	不正確である。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-194		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
26	126	下	「1995年1月起こった」	脱字である。	3-(2)	
27	134	右写真	上写真のタイトル「注意しなが登校する」	脱字である。	3-(2)	
28	136	18 - 19	「地震などによって、土地に大きな力が加わってできた土地のずれを断層という。」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (新たに断層が生じると誤解する。)	3-(3)	
29	142	中図	記録用紙下右「0」	不正確である。 (単位記号がない。)	3-(1)	
30	147	8	「いん石」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がない。)	3-(3)	
31	148	図	図中の「地球」	不正確である。 (学習内容との対応について)	3-(1)	
32	158	11 - 12	「どちらのリトマス紙の色が変わらない性質を中性といいます。」	不正確である。	3-(1)	
33	167	下囲み	「実験3-2 うすい塩酸や水へのとけ方を比べて、実験3で出てきた白い固体が元のアルミニウムかどうかを調べよう。」全体	作業の安全について適切な配慮がされていない。 (火気に対する注意がない。)	固有 1-(1)	
34	169	16 - 17	「ところが、近年、海水の性質が弱いアルカリ性から少しずつ中性や酸性に変わってきています。」及び19-20行「このようにして、海水が酸性になることを「海洋酸性化」といいます。」	不正確である。 (海洋酸性化について)	3-(1)	
35	169	20 - 22	「海水の性質が変わると、海の生き物は、すんでいる環境が変わってしまい、生きていけなくなります。」	不正確である。 (断定的表現。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-194		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
36	171	11 - 12	「上の5種類の水溶液のうち、気体がとけているのは( )と( )です。」	児童にとって理解し難い表現である。 (括弧が2つしかないことについて)	3-(3)	
37	177	下囲み	中左の火力発電所の模式図における左向きの黒い矢印	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がない。)	3-(3)	
38	187 - 191	ページ 全体	「プログラム」、「命令」、「指示」及び「ブロック」	児童にとって理解し難い表現である。 (「プログラム」、「命令」、「指示」及び「ブロック」の使い分けについて、説明不足。)	3-(3)	
39	188	上図	「プログラムを組み合わせる場所」の「プログラム」	誤りである。	3-(1)	
40	188	2	「MakeCode」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明不足。)	3-(3)	
41	189	3	「暗くなると明かりつき、」及び同ページ10行の同表現	脱字である。	3-(2)	
42	189	7	「理論ブロック」	誤記である。	3-(2)	
43	189	11	「micro:bit」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
44	189	11	「micro:bit」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明不足。)	3-(3)	
45	190	1 - 2	「Scratch」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明不足。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-194		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
46	191	27 - 28	「ミニ信号機が動くを確かめる。」	誤記である。	3-(2)	
47	195	下右	二次元コード	誤記である。	3-(2)	
48	198	下囲み	「ピククンショウモ」の写真	児童にとって理解し難い表現である。 (大きさについて)	3-(3)	
49	202	上囲み	上右グラフの「1990年を0としたときの」	不正確である。 (グラフとの対応について)	3-(1)	
50	202	上右グラフ	縦軸の名称「地球の平均気温の上がり方」	不正確である。	3-(1)	
51	202	14	「二酸化炭素など」(以下, 15行)	児童にとって理解し難い表現である。 (「など」について)	3-(3)	
52	209	18	「ミドリムシなどの植物」	不正確である。 (分類について)	3-(1)	
53	209	下右写真	説明文の「ミドリムシを原料の一部に使ったバイオ燃料をが注目されている。」の「をが」	誤記である。	3-(2)	
54	214	上囲み	電流の大きさの単位「mA」、「A」(以下, 181~182ページ全体における同表現。)	児童にとって理解し難い表現である。 (説明不足。)	3-(3)	
55	215	ページ全体	「理科室の使い方」全体	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-194		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
56	219	4 左	「酸素にはものやすはたらきがある。」	脱字である。	3-(2)	
57	219	5 - 7 右	「●てこを使ってものを持ち上げるとき、(おもりの重さ)×(支点からのきより)が棒の左右で等しいと、棒が水平になる。」	不正確である。 (99ページ上囲み「結論」の内容に照らして)	3-(1)	
58	219	7 - 12 左	「人や他の動物の体 ●吸いこんだ空気は、肺に送られる。肺では、血液中に酸素が取り入れられて、血液中から二酸化炭素が出されるので、はき出した空気は、二酸化炭素	不正確である。 (46ページ下の「フナ」の「呼吸の仕組み」に照らして)	3-(1)	
			を多くふくむ。このやりとりを呼吸という。」			
59	219	下吹き出し	「水溶液では、とけている物質の性質に注目、」の「物質」	児童にとって理解し難い表現である。 (未学習。)	3-(3)	
60	220	8 - 10	「SDGsには、17の目標と169のターゲットから構成されています。」	不正確である。 (「SDGsには」)	3-(1)	
61	221	中左吹き出し	「マイバック」	誤記である。	3-(2)	
62	222	中右	「アルコールランプ使い方」及び223ページ中右の同表現	脱字である。	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-195		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	54	1 - 2	「問題 バッタは、どのようなじゅんじょで育つのだろうか。」及び55ページ1行の「べつのほうほう トンボをかって、育ち方を調べてみよう」	児童にとって理解し難い表現である。 (「問題」と、それを解決するための「べつのほうほう」の組み合わせとして)	3-(3)	
2	158	上右	イラスト内の「コップに入れたゼリー→「かさ」」及び「かたまったゼリー→「体積」」	児童にとって理解し難い表現である。 (同ページ上左吹き出し「かさのことを体積といいます。」に照らして)	3-(3)	
3	161	上	2枚の台ばかりの写真中の「FUJI」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
4	163	下囲み	「ハスの実の発芽をこころみました。」	児童にとって理解し難い表現である。 (「発芽」について未学習。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。



## 検 定 意 見 書

受理番号 104-196		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 4
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	50	15 - 16	「⑤ 湯を入れた水そうに、ストロー温度計とぼう温度計を入れる。」及び中右の⑤の写真	不正確である。 (相互の関係について)	3-(1)	
2	55	下左写真	「(さそりぎのアンタレス)」	誤りである。	3-(1)	
3	58	中左写真	星座早見の「・WATANABE」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
4	59	10	「青白く見える星」と右図	不正確である。 (対応について)	3-(1)	
5	65	下右	囲みの「・おたまじゃくし(中略)おがのこっているものもいた。」(以下、158ページ下右の囲みの同表現)	児童にとって理解し難い表現である。 (「おたまじゃくし」に「おがのこっているものもいた」ことについて)	3-(3)	
6	69	18	「発ぼうスチロール」(以下、21行の同表現)	不正確である。 (物質名について)	3-(1)	
7	91	8	「「晴れ」や「くもり」の天気は、空全体を10としたときの、およその雲の量(雲量)で決めます。」及び写真上の「雲量1」「雲量8」「雲量9」、写真右の囲み「雲量が0～8のとき→「晴れ	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)	
			」」「雲量が9～10のとき→「くもり」」			
8	109	右囲み	「人のほね」の図の「せなかのほね」と「こしのほね」の引出線	不正確である。 (指す位置について)	3-(1)	
9	119	下右図	「モーターで動く車」の一番下の図	児童にとって理解し難い表現である。 (大、小のプーリーそれぞれから出ている線について)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-196		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 4
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	123	4	「はりのふれが小さいときは、切りかえスイッチを「まめ電球」の方にする。」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明不足。)	3-(3)	
11	131	下囲み	「発光ダイオードは、回路を流れる電流の向きによって、明かりがついたり、つかなかったりする。」及び133ページ15～17行の同表現	不正確である。 (132ページ6～7行「反対につなぐと、発光ダイオードに電流が流れないため、明かりはつきません。」との対応について)	3-(1)	
12	191	下囲み	「ふしぎ なぜ を追い求めた科学者」全体	発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-197		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 5
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	表見返	下左	「ブナの発芽」とその写真	不正確である。 (対応関係について)	3-(1)	
2	6	4 - 6	「これから育てるズッキーニでは、「たね」のことを「種子」といいます。」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (「ズッキーニ」以外の植物の「たね」について)	3-(3)	
3	14	中左図	タイトル「雲の写真」(以下、下左図、11ページ下右図、16ページ上左図、18ページ上左～下左図、20ページ上右図、81ページ上左～下左図のタイトル)	不正確である。 (説明文「情報をもとに雲の様子を表したもの」との対応について)	3-(1)	
4	54	下左	「ズッキーニの花粉(約50倍)」の写真(以下、61ページ上右の「トウモロコシの花粉(約60倍)」の写真)	児童が誤解するおそれのある表現である。 (55ページに示されたタイプのけんぴ鏡での観察によりこのような像が得られるかのような表現。)	3-(3)	
5	57		「メマツヨイグサ(約50倍)」、「ツユクサ(約50倍)」及び「アサガオ(約50倍)」の各写真	不正確である。 (大きさについて)	3-(1)	
6	63	5 - 6	「人の手で全ての花を受粉させることで、形のきれいなリンゴが実るようにしています。」	児童にとって理解し難い表現である。 (因果関係について)	3-(3)	
7	108	1	「エナメル線を同じ向きにまいて電石を作り、」の「エナメル線」	児童にとって理解し難い表現である。 (107ページ5行「導線を同じ向きにたくさんまいたものをコイルといい、」の「導線」との異同について)	3-(3)	
8	108	囲み	「ものづくり」の「じゅんび」	児童が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (「ものづくり」内の下右写真にある導線(黒と赤)が、「じゅんび」の中にある。)	2-(14)	
9	108	上右写真	写真中の「エナメル線の両はしを紙やすりでけずってはがしておく。」	児童にとって理解し難い表現である。 (「紙やすりでけずってはがしておく」ものについて、説明不足。)	3-(3)	
10	136	下右囲み	「水よう液をじょう発させるときの注意」及び156ページ下右の同表現	不正確である。 (じょう発させるものについて)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-197		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 5
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	143	下左	「じゅんび」の中の「発ぼうスチール」及び下右「つくり方」の中の「発ぼうスチロール」	不正確である。 (物質名として)	3-(1)	
12	143	下左囲み	「ミョウバンの結しよう」の「結しよう」及び156ページ下右の同表現	児童にとって理解し難い表現である。 (未学習。)	3-(3)	
13	155	中右	「人と環境」の説明文の「環境」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-198		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	12	7	「ろうそくの火はよく燃え続けます。」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (ものの燃え方の学習において、指摘事項では燃える対象が「火」となっており、児童が混乱するおそれがある。)	2-(1)	
2	16	下右囲み	「酸素中での燃焼」の「燃焼」及び188ページ上左の同表現	児童にとって理解し難い表現である。 (未学習。)	3-(3)	
3	30	上右囲み	「金魚」(以下、42ページ上右囲み及び188ページ中左の同表現)	不正確である。 (表記について)	3-(1)	
4	34	下左	「人の小腸とそれを取りまく血管」の図の「ひだ」の引出線	不正確である。 (指す位置について)	3-(1)	
5	35	上右	「小腸」の拡大図の「じゅう毛」の引出線	不正確である。 (指す位置について)	3-(1)	
6	35	下右	「大腸(水分の吸収)」の図の「水分を吸収する穴」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (水分を吸収する場所について)	3-(3)	
7	40	下	「じゅんぴ」の囲みの「イナダ」	不正確である。 (表記について)	3-(1)	
8	60	中	丸囲み写真4葉に「水分が出される小さな穴」から伸びる矢印4本	不正確である。 (「穴」を指していない。)	3-(1)	
9	76	下囲み	「ふくまれている水分」全体	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)	
10	77	中	「メダカのおびれの血管」の写真	児童にとって理解し難い表現である。 (大きさについて)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-198		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	106	中右写真	タイトル「ナウマンゾウの化石」	不正確である。 (写真との対応について)	3-(1)	
12	114	3	「土地にずれ(断層)が生じると、地しんが起きます。」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (新たに断層が生じると誤解する。)	3-(3)	
13	115	写真	タイトル「東日本大しん災で起きたつ波」(以下、114ページ上左写真タイトル、上右写真タイトル「阪神・淡路大しん災」、左囲み「はんしん・あわじ大しん災」)	不正確である。 (自然現象と災害の名称とを混同しており、周辺記述と整合しない。)	3-(1)	
14	118	図	上図全体	最新のものをを用いておらず、学習上の支障を生ずるおそれがある。 (地震分布のデータ期間が古い。)	2-(11)	
15	134	下囲み	「・そのほか、ホチキス、せんぬきなどがある。」	児童にとって理解し難い表現である。 (この分類のホチキスについて説明不足。)	3-(3)	
16	138	中右写真	自転車の写真	児童にとって理解し難い表現である。 (作用点について)	3-(3)	
17	142	下右囲み	「水よう液をじょう発させるときの注意」及び188ページ中右の同表現	不正確である。 (じょう発させるものについて)	3-(1)	
18	151	中央	「じゅんぴ」の「うすい塩酸を蒸発させて」	不正確である。 (蒸発させるものについて)	3-(1)	
19	156	上囲み	「実験1」の「じゅんぴ」の「鏡」	児童にとって理解し難い表現である。 (用途について説明不足。)	3-(3)	
20	170	中右吹き出し	「命令のことを、「プログラム」とい	児童にとって理解し難い表現である。 (172ページ中囲み「プログラムで使われる命令(例)」及び175ページ21行「プログラムの命令や手順」との対応について)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-198		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
21	173	下右囲み	「早く電気が終わってしまった。」	児童にとって理解し難い表現である。 (「電気が終わって」について)	3-(3)	
22	178	下囲み	上右の「過去50年間の気温の変化」のグラフ及び下右「過去50年間の空気中にふくまれる二酸化炭素の体積の割合の変化」のグラフ	児童にとって理解し難い表現である。 (どこのデータであるのか)	3-(3)	
23	179	下囲み	「地球環境にやさしい」(以下、188ページ下右の同表現。)	児童にとって理解し難い表現である。 (意味するところについて)	3-(3)	
24	180	上	「家庭で使う水」の円グラフの「1人1日約200L」及び「工場で使われる水」の「紙1トンを作るには、約100トンの水が使われる。」	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)	
25	182	10	「水にふくまれる余分な養分」	児童にとって理解し難い表現である。 (意味するところについて)	3-(3)	
26	185	上右	「価格が安くて、安定して発電でき、持続可能で近代的なエネルギーをすべての人が使えるようにする。」	児童にとって理解し難い表現である。 (安定して発電できるものについて)	3-(3)	
27	185	上右	「※再生可能エネルギーとは、太陽の光や風、地熱など自然の力でつくるエネルギーのこと。」	児童にとって理解し難い表現である。 (未学習の「エネルギー」を用いて説明している。)	3-(3)	
28	185	中	「目標15」の記述の「土地を再生し、」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明不足。)	3-(3)	
29	185	中	注の「生物多様性とは、たくさんの種類の生き物が複雑にかかわり合い、様々な環境に合わせて生きていること。」	不正確である。 (「生物多様性」の説明として)	3-(1)	
30	187	下囲み	「世界初の人工がん発生実験に成功」の記述全体	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-199		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	4	5	「かんさつやじっけんのきろくを何度も見返すことができ、けっかを正しく知ることができます。」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (写真や動画をとっておけば正しい結果が得られるかのように)	3-(3)	
2	9 - 17		「1 生き物をさがそう」の記述全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (「B生命・地球」の(1)のAの(ア)の「周辺の環境と関わって生きていること。」)	2-(1)	
3	22	上左吹き出し	「たねからは、どんなめが出るのかな。」	不正確である。 (発芽についての記述として)	3-(1)	
4	31	中左	「皮をぬぐようす」の写真の白矢印(三箇所)	児童にとって理解し難い表現である。 (意味するところについて)	3-(3)	
5	46 - 59	ページ全体	「4 風とゴムの力のはたらき」全体, 108-119ページ「7 光のせいしつ」全体, 120-131ページ「8 電気で明かりをつけよう」全体, 132-149ページ「9 じしゃくのふしぎ」全体, 150-	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (ものづくりを行う種類が、指摘事項の項目ごとに順に0種類, 0種類, 1種類, 0種類, 0種類, 0種類, 1種類となっており、内容の取扱い(1)の「内容の「A	2-(1)	
			159ページ「10 音のせいしつ」全体, 160-169ページ「11 ものと重さ」全体, 及び170-173ページ「おもちゃランド」全体	物質・エネルギー」の指導に当たっては、3種類以上のものづくりを行うものとする。」に照らして)		
6	55	下囲み	「やってみよう!プログラミング」全体	児童にとって理解し難い表現である。 (囲みの内容と「プログラミング」との関係の説明がない。)	3-(3)	
7	58	ページ全体	「with the Earth ～風のぼうさい～」全体	発展的な学習内容には該当しない。	2-(15)	
8	59	ページ全体	「くらしとリンク」全体(ただし、囲み「風の力をりようする」を除く)	発展的な学習内容には該当しない。	2-(15)	
9	74	中右吹き出し	「どのこん虫も、頭に目や口、しよっ角があって、むねに4まいのはねがついているね。」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (こん虫のはねについて)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。



## 検 定 意 見 書

受理番号 104-199		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	81	ページ全体	「よくかんさつしてこん虫をえがく？」全体	発展的な学習内容には該当しない。	2-(15)	
11	149	下右写真	コーンの「LAUREL TOP」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
12	173	上囲み	下右「かん電地」	誤記である。	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-200		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 4
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	4	5	「観察や実験の記録を何度も見返すことができ、結果を正しく知ることができます。」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (写真や動画をとっておけば正しい結果が得られるかのように)	3-(3)	
2	8		「奥須磨公園（兵庫県神戸市）」の写真	児童が誤解するおそれのある表現である。 (公園の池の柵を乗り越えることの安全性について)	3-(3)	
3	14	下右	「トノサマガエルのおたまじゃくし」の記録カードの「水温16℃」	児童にとって理解し難い表現である。 (13ページ2行の「①調べる動物のそばで、気温をはかる。」に照らして)	3-(3)	
4	65	中囲み	④「結果」の表、⑤「わかったこと」の1行目及び下右囲みの「時間」	不正確である。 (用語について)	3-(1)	
5	83	下左囲み	「別の方法」全体	児童にとって理解し難い表現である。 (説明不足。)	3-(3)	
6	93	右	図及び98ページ上左の「イヌのほね」の図	児童が誤解するおそれのある表現である。 (肋骨について)	3-(3)	
7	94	上右	写真(1葉)	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がない。)	3-(3)	
8	105	右囲み	本文2-4行の「鳴き声がきれいなコロギですが、実は食べることもできるのです。」	児童にとって理解し難い表現である。 (「食べる」主体について)	3-(3)	
9	105	右囲み	本文4-5行の「たくさんの栄養があり、」(以下、下吹き出しの「たくさんの栄養があります。」及び「栄養がたくさんとれる、」)	不正確である。 (「栄養」の用法について)	3-(1)	
10	105	右囲み	本文5行の「未来の地球をすくう食べ物」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明不足。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検定意見書

受理番号 104-200		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 4
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	105	右囲み	「注意」の「野生のコオロギはぜったいに食べてはいけない。」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (飼育されたコオロギであれば可食であるかのような表現。)	3-(3)	
12	108	中右	記録カードの「春や夏におたまじゃくしだったトノサマガエルは、」	児童にとって理解し難い表現である。 (52ページ1-3行の「夏には(中略)動物が活発に活動したりします。」及び下右の「トノサマガエル」の写真に照らして)	3-(3)	
13	124	下中図	「中のしくみ」のイラスト(全体)及び127ページ下右のイラスト(全体)	児童にとって理解し難い表現である。 (温度の違いによって、金属の曲がる方向が反転する理由について)	3-(3)	
14	127	下囲み	「キーワード」の中の「サーモスタット」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がない。)	3-(3)	
15	135	右囲み	本文1-2行の「寒い冬をこすために、生き物はいろいろなくふうをしています。」	不正確である。 (目的論的記述。)	3-(1)	
16	139	下左写真	説明文の「1月末にはサクラがさき始めます。」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (他所のサクラとの異同について)	3-(3)	
17	140	下中図	「熱し始めて、少し時間がたったとき」のサーモグラフィーの図	児童にとって理解し難い図である。 (図と下の「色」の右のカラーバーとの対応について)	3-(3)	
18	143	中右	「アルコールランプの使い方 123ページ」	不正確である。 (123ページに「アルコールランプの使い方」がない。)	3-(1)	
19	149	6 - 7	「暗い部屋で、あたためられた空気に光を当て、スクリーンにうつったかげを観察する。」	児童にとって理解し難い表現である。 (「スクリーンにうつったかげ」について)	3-(3)	
20	153	下囲み	「やってみよう!プログラミング」全体	児童にとって理解し難い表現である。 (学習内容との関連について、説明不足。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-200		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 4
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
21	153	下囲み	「やってみよう！プログラミング」全体	児童にとって理解し難い表現である。 (囲みの内容と「プログラミング」との関係の説明がない。)	3-(3)	
22	185	上	折れ線グラフ全体	不正確である。 (194ページの「折れ線グラフの書き方」の「①表題をかく。」に照らして)	3-(1)	
23	198	上囲み	右「3. 地面を流れる水のゆくえ」と中囲み右「3. 電気のはたらき」	誤りである。 (番号が重複している。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-201		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 5
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	4	5	「観察や実験の記録を何度も見返すことができ、正確な結果を知ることができます。」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (写真や動画をとっておけば正しい結果が得られるかのように)	3-(3)	
2	13	上囲み	右の丸囲み写真タイトル「実(種子)」	不正確である。 (括弧内外の関係について)	3-(1)	
3	26	14 - 16	「全国に約1300か所ある無人の気象観測所で、自動的に風向と風速、気温、降水量(雨や雪がふる量)、日照時間などを観測し、」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (1300か所すべてで風向と風速、気温、日照時間が観測されているかのように)	3-(3)	
4	43	6	「種子を守る」(以下、7行及び9行「種子を守っていく」)	児童にとって理解し難い表現である。 (説明不足。)	3-(3)	
5	43	9	「品種」	児童にとって理解し難い表現である。 (未学習。)	3-(3)	
6	51	下右	図の説明文の「ちがう種類の木を植えたりすることで、日当たりがよくなり、」	児童にとって理解し難い表現である。 (因果関係について)	3-(3)	
7	51	下	「キーワード」の「人工林」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がない。)	3-(3)	
8	58	上右	「2日」の写真の説明文の「体のもとになるものが見えてくる。」	児童にとって理解し難い表現である。 (写真の「メダカの体」に照らして、「体のもとになるもの」について)	3-(3)	
9	60	16 - 22	記述全体(21-22行の「すみかとなる場所を守ること、」を除く)	発展的な学習内容には該当しない。	2-(15)	
10	60	19 - 20	「メダカを守るためと思った放流でも、やり方をまちがえると、」及び22行の「まちがった放流をしないことが大切です。」	児童にとって理解し難い表現である。 (メダカの放流のやり方をまちがえること及び、まちがった放流について)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-201		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 5
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	63	右	「クロマグロの育ち」の囲みの「たんじょうした直後のち魚」、「たんじょうして16日後のち魚」及び「約3年半育てた成魚」の写真の説明文の長さの数値	児童にとって理解し難い表現である。 (どこの長さであるのか)	3-(3)	
12	63	5	「かんきょう」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がない。)	3-(3)	
13	79	6	「ヘチマのように、めばなとおばなの2つの花をもつものがあり、」	不正確である。 (74ページ3-4行「ヘチマは、めばなとおばなという、花のつくりがちがう2種類の花がさきます。」との対応について)	3-(1)	
14	87	22	「形のよいイチゴ」	不正確である。 (表記について)	3-(1)	
15	87	下	「キーワード」の「ビーフライ」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がない。)	3-(3)	
16	92	中左	「受精後 約4週」の表の「体重」の「-」	児童にとって理解し難い表現である。 (意味するところについて)	3-(3)	
17	92	上左	「受精後 約4週」の母体の模式図と、101ページ下左の「受精後4週」の図	児童にとって理解し難い表現である。 (差異について)	3-(3)	
18	92	上左	「受精後 約4週」の母体の模式図とその拡大図	児童にとって理解し難い表現である。 (93ページ中右の吹き出しの「ヒトの子どもは(中略)子宮の中で育つんだね」に照らして、母体の模式図とその拡大図の相互の位置について)	3-(3)	
19	100	2	「メダカやヒトは、たんじょうした子どもが親になり、また子どもを産むことで、」	不正確である。 (55ページ1-2行の「メダカを飼っていると、(中略)たまごを産みます」に照らして、メダカが「子どもを産む」ことについて)	3-(1)	
20	100	下	「メダカ」の図の中央の説明文の、「めすが産んだたまごと、おすが出す精子が結びついて、受精する。」及び101ページ下の「ヒト」の図の中央の説明文の、「女性の体内でつくられた	不正確である。 (55ページ6-7行の「たまごと精子が結びつくことを受精といい」に照らして)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-201		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 5
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
			卵と、男性の体内でつくられた精子が結びついて、受精する。」			
21	110	下写真	②の説明「笛吹市 金川」	不正確である。 (写真との対応について)	3-(1)	
22	134	14 - 15	「針のふれるテンポを速くするためには、左の写真のおもりの位置を、上下のどちらに動かせばよいでしょうか。その理由も説明しましょう。」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (未学習の内容が含まれる。)	2-(1)	
23	135	14	「中学校」	不正確である。 (「フーコーのふりこ」の学習指導要領上の位置付けについて)	3-(1)	
24	139	6 左	「はかるものをのせる前への表示が」	誤記である。	3-(2)	
25	143	ページ 全体	「実験1 とけたもののゆくえ」全体	作業の安全について適切な配慮がされていない。 (目の保護に対する注意がない。)	固有 1-(1)	
26	149	3 - 5	「メスシリンダーで水50 mLをはかり取り、ビーカーに入れ、温度をはかる。実験2と同じ方法で、この水にとける食塩が何ばいかわかる。」	児童にとって理解し難い表現である。 (実験2ではふたつきの容器、実験4ではビーカーの中でとくすことを考慮すると、「実験2と同じ方法で」について理解し難い。)	3-(3)	
27	149	下左囲 み	「別の方法」の中の「はかり取ってもよい。」	誤記である。	3-(2)	
28	150	中囲み	「水の温度ととける食塩の量」のグラフ及び「水の温度ととけるミョウバンの量」のグラフ	不正確である。 (縦軸の数値について)	3-(1)	
29	152	下左囲 み	「別の方法」の中の「とり残り」	誤記である。	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-201		学校 小学校		教科 理科		種目 理科		学年 5	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
30	158	8	「食塩は、合計で何gとけるでしょうか。」	児童にとって理解し難い表現である。 (「合計で」の意味するところについて)	3-(3)				
31	160	12	「海水を一度じょう発させて」	不正確である。 (じょう発させるものについて)	3-(1)				
32	161	9 - 10	「小さな生物によってふんなどが取りのぞかれたりした後、」	児童にとって理解し難い表現である。 (小さな生物によってふんなどが取りのぞかれることについて)	3-(3)				
33	172	4	「直列つなぎ（1つの輪）」	不正確である。 (括弧内外の関係について)	3-(1)				
34	187	中右表	表内の項目「4回め」	誤記である。	3-(2)				
35	188 - 189	囲み全体	「大きなミョウバンのつぶ」全体、「ゆらゆらUF0」全体、及び「コイルモーター」全体	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)				
36	188	11	手順②の「エナメル」	脱字である。	3-(2)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。



## 検 定 意 見 書

受理番号 104-202		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	1		「生物が生きづらくなっている」(以下、2ページ(「生物が生きづらい環境」))	児童にとって理解し難い表現である。(説明不足。)	3-(3)	
2	1		「環境を守るために、わたしたちにできることがあるのか、これから考えていこう。」及び2-3ページの記述全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (第6学年の内容「B 生命・地球」の(3)「生物と環境」について、動物や植物の生活を観察したり資料を活用したりする中で、生物と環境との関わりに着目	2-(1)	
				して、それらを多面的に調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。」、「(ウ)人は、環境と関わり、工夫して生活していること。」及びイ「生		
				物と環境について追究する中で、生物と環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現すること。)」		
3	2	中左	「油でよごれたペンギン」及び写真	児童にとって理解し難い表現である。(説明不足。)	3-(3)	
4	2	中右	「絶めつが心配されているアマミノクロウサギ」	児童にとって理解し難い表現である。(絶滅について未学習。)	3-(3)	
5	2	下	「白くなったサンゴ この状態が続くとサンゴがなくなってしまう。」	児童にとって理解し難い表現である。(説明不足。)	3-(3)	
6	3	上	「絶めつから野生復帰したコウノトリ」	児童にとって理解し難い表現である。(「野生復帰」について未学習。)	3-(3)	
7	6	5	「観察や実験の記録を何度も見返すことができ、正確な結果を知ることができます。」	児童が誤解するおそれのある表現である。(写真や動画をとっておけば正しい結果が得られるかのように)	3-(3)	
8	9	左囲み	「4月」の「芽かき」	児童にとって理解し難い表現である。(説明がない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-202		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
9	12	中左吹き出し	「取り入れている思うよ。」	脱字である。	3-(2)	
10	20	11 - 12	「植物がもととなっているものを燃やすと、酸素が使われて二酸化炭素が発生します」	発展的な学習内容には該当しない。	2-(15)	
11	24	下囲み	「キーワード」の中の「燃焼」	児童にとって理解し難い表現である。 (未学習。)	3-(3)	
12	25	下右囲み	「ロケットで打ち上げられた探査機「はやぶさ2」」全体	発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)	
13	25	下右囲み	「物質」	児童にとって理解し難い表現である。 (未学習。)	3-(3)	
14	54	8 - 9	「蒸散は、気こうで行われている。」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (気孔以外で蒸散がみられないかのような表現。)	3-(3)	
15	63	上囲み	中右の「ジャガイモのいもにたくわえられたでんぷん」の丸囲み写真	児童にとって理解し難い表現である。 (大きさについて)	3-(3)	
16	77	11 - 12	「外来生物とよばれる生物も、本来くらしている地域では食物連鎖の大切な一員です。」	不正確である。 (食物連鎖について)	3-(1)	
17	80	下囲み	右写真の「(インドネシア)」	不正確である。 (写真の地名として)	3-(1)	
18	85	上囲み	「こんなに大きなサメですが、」及び84-85ページ上の「ジンベエザメ」の写真	児童にとって理解し難い表現である。 (大きさについて説明がない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-202		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
19	85	10 - 13	「生物どうしの関係は食物連鎖だけではなく、それぞれの習性を生かしながら、ときにきそい合い、ときに助け合うなど、とても複雑にからみ合っています。」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)	
20	85	11 - 12	「それぞれの習性を生かしながら、ときにきそい合い、ときに助け合うなど、」	児童にとって理解し難い表現である。 (生物間相互作用(食物連鎖を除く)について未学習。)	3-(3)	
21	87	9 - 11	「落ち葉やふんは、土の中などにすむ小さな生物によって、生物が生きていくために必要な養分になります。」	児童にとって理解し難い表現である。 (「養分」について説明不足。)	3-(3)	
22	105	囲み	「実験4 金属にうすい塩酸を加えたときの変化」全体	作業の安全について適切な配慮がされていない。 (やけどに対する注意がない。)	固有 1-(1)	
23	106	3	「塩酸には金属をとかすはたらきがある。」	不正確である。 (塩酸のはたらきについて)	3-(1)	
24	108	1 - 2	「鉄やアルミニウムがとけた液体を蒸発させると」、110ページ1行「塩酸に金属がとけた液体を蒸発させて」、111ページ下「塩酸に金属がとけた液体を蒸発させると」及び112ページ5行	不正確である。 (蒸発させるものについて)	3-(1)	
			「その液体を蒸発させると」			
25	113	ページ 全体	「近年、海が酸性化しているって本当?」全体	児童が誤解するおそれのある表現である。 (近年、海水が酸性になってきているかのような表現。)	3-(3)	
26	113	12 - 15	「また、サンゴや貝など、海でくらす生物の成長や産卵などにも悪いいきょうが出て、地球全体の環境にも変化が起こるおそれがあります。」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明不足。)	3-(3)	
27	123	16 - 18	「使われなくなった世界各国の人工衛星などが、地球の周りには数多くあり、スペースデブリ(宇宙ごみ)とよばれ、問題になっています。」	児童にとって理解し難い表現である。 (スペースデブリの存在がどのような問題を引き起こすのかについて説明がない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-202		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
28	141	上左写真	「火砕流」及び説明文全体	不正確である。 (「火山活動による災害」との対応について)	3-(1)	
29	142	3 - 4	「大地にずれ(断層)ができることで起こります。」(以下、143ページ6行と150ページ下左「断層ができることで地震が起こり」)	児童が誤解するおそれのある表現である。 (新たに断層が生じると誤解する。)	3-(3)	
30	143	上右写真	タイトル「東北地方太平洋沖地震による津波」(以下、中右写真のタイトル「東北地方太平洋沖地震による液状化」)	不正確である。 (「地震による災害」との対応について)	3-(1)	
31	147	中左写真	タイトル「地震でたおれないように」	不正確である。 (143ページ上左写真の説明文「兵庫県南部地震のゆれでたおれた」との対応について)	3-(1)	
32	148 - 149		全体	発展的な学習内容には該当しない。	2-(15)	
33	149	左写真	Mine秋吉台の説明文「石灰水がつくり出した」	誤りである。 (写真の洞窟の成因について)	3-(1)	
34	153	1	「2017年、北海道穂別町(現在のむかわ町)」	不正確である。	3-(1)	
35	154	下	「ふたには、おもしろい何倍もの力が下向きに加わるしくみになっている。」	児童にとって理解し難い表現である。 (「おもしろい何倍もの力」について)	3-(3)	
36	171	10 - 11	「地震などの災害」	不正確である。 (自然現象と災害の関係について)	3-(1)	
37	177	下右写真	写真	児童が誤解するおそれのある写真である。 (写真のタービンが水蒸気で回るかのように誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-202		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
38	185	中段の囲み	「必要ときだけ明かりをつける例」が示す中段の2つの囲み	児童にとって理解し難い表現である。 (2つの例の違いについて、説明不足。)	3-(3)	
39	186	6	「電気をむだなくに使うために」	誤記である。	3-(2)	
40	193	4 - 6	「東京都心の写真の場所は、ヒトが木を植えてから、およそ100年後の現在、3000種類以上の生物が見つまっている」	不正確である。 (生物の種類数について)	3-(1)	
41	195	3	「2 環境を守る取り組みも調べる。」	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (第6学年の内容「B 生命・地球」の(3)「生物と環境」について、動物や植物の生活を観察したり資料を活用したりする中で、生物と環境との関わりに着目	2-(1)	
				して、それらを多面的に調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。」「(ウ)人は、環境と関わり、工夫して生活していること。」及びイ「生		
				物と環境について追究する中で、生物と環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現すること。)」		
42	196	中左囲み	「台風による大雨で水につかった畑」の写真	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
43	196	10 - 11	「川や海の水質の変化は、そこにすむ生物にえいきょうをあたえます。」	児童にとって理解し難い表現である。 (「水質の変化」について説明不足。)	3-(3)	
44	198	中右	「標準的な家庭用冷蔵庫の消費電力」のグラフ	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)	
45	198	中右	グラフ縦軸の「(kWh/年)」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 104-202		学校 小学校		教科 理科	種目 理科	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
46	199	下写真	「管理ができなくなった畑の利用」の上右写真の瓶詰のラベルのマーク	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
47	199	4 - 5	「まとめ」の「環境を守ることは、ヒトをふくむ生物を守ることになる。」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明不足。)	3-(3)	
48	202	12 - 14	「環境にはいりよした服の材料や製造なども増えてきています。」	児童にとって理解し難い表現である。 (「環境」への「配慮」について説明不足。)	3-(3)	
49	202	下右	「回収されたペットボトルを素材に使った服」の「素材」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がない。)	3-(3)	
50	203	上囲み	「海の森(ブルーカーボン)」全体	発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(17)	
51	203	上囲み	「ブルーカーボン」及び中図の「グリーンカーボン」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明がない。)	3-(3)	
52	203	上囲み	「海そうが広がる海は、」及び左の海中の写真	児童が誤解するおそれのある表現である。 (右の「コンブなどの海そう」の「海そう」との異同について)	3-(3)	
53	203	9 - 12	「日本では1日に、おにぎり1億2000万個に相当する食品ロスが発生しています。」	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)	
54	204	10	「ノーベル賞が送られました」	誤植である。	3-(2)	
55	215	囲み①	「クリーンエネルギー」	児童にとって理解し難い表現である。 (説明不足。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。